

第125回 学長定例記者会見

日時：令和2年9月25日（金）11：00～11：30

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟5階 5F1会議室

※ テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 東千田未来創生センター 4-1

※ YouTubeによる録画配信を実施

【発表事項】

1. 2020年度第3ターム（10月2日～）の授業等の実施について
2. 2020年10月に「広島大学AI・データイノベーション教育研究センター」および「広島大学スポーツセンター」を設置します
3. 広島大学初のネーミングライツを工学部の施設に導入
～ 広島大学と株式会社加藤組が、ネーミングライツ契約を締結 ～
4. 広大生が、大手化粧品会社の支援を受け、スリランカで有用植物栽培を通じた平和構築活動をスタートします

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和2年10月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和 2 年 9 月 25 日

2020 年度第 3 タームの授業等の実施について

広島大学では、7 月 1 日以降「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島大学の行動指針」をレベル 1.5 とし、対面による教育学習活動を段階的に拡大してきました。

第 3 ターム(10 月 2 日(金)～)についても、「新しい生活様式」による感染防止行動の遵守をしつつ、対面授業を増やす方向で検討しています。

学部 1 年生対象の学部専門科目、一部の大学院の授業、学部長・研究科長等が実施可能と判断した受講者 20 人以下の科目、実技を伴う実験・実習等で教育本部が対面でなければ教育効果が得られないと判断した科目については、対面による活動を導入することとします。

現時点において、第 3 タームに対面で実施する科目は、学部 1 年生対象の学部専門科目 114 科目、大学院授業 1,270 科目、受講者 20 人以下の科目 301 科目、実技を伴う実験・実習等の科目が 310 科目、合計 1,995 科目の予定です。

※ 今後の新型コロナウイルス感染の状況等によっては、上記の予定を変更することがあります。

【お問い合わせ先】

教育室教育部教育推進グループ 景山
TEL : 082-424-6156 FAX : 082-424-6170

令和2年9月25日

広島大学AI・データイノベーション教育研究センターを設置します

広島大学は、10月1日、広島大学東千田キャンパスの東千田未来創生センター内に「AI・データイノベーション教育研究センター」を設置します。

現在、世界レベルで経済社会のデジタルトランスフォーメーション（DX）による大転換が進展しています。その変革の契機の一つは、ビッグデータに基づくAIの発展であることから、ビッグデータの集積・蓄積・分析を行う能力を有し、AIやICT技術等の新技術を活用したイノベーションを実現する人材を育成し、確保していくことが重要な課題となっております。

広島大学では、平成30年4月に、全国初となるデータサイエンスとインフォマティクスの統合的学部教育を担う「情報科学部」を開設いたしました。さらに情報科学部を申請母体として数理及びデータサイエンス教育の強化コンソーシアムの協力校に選定され、情報科学部および学内の情報系教員が中心となって、データリテラシーレベルのカリキュラム・教材開発に取り組んでいます。

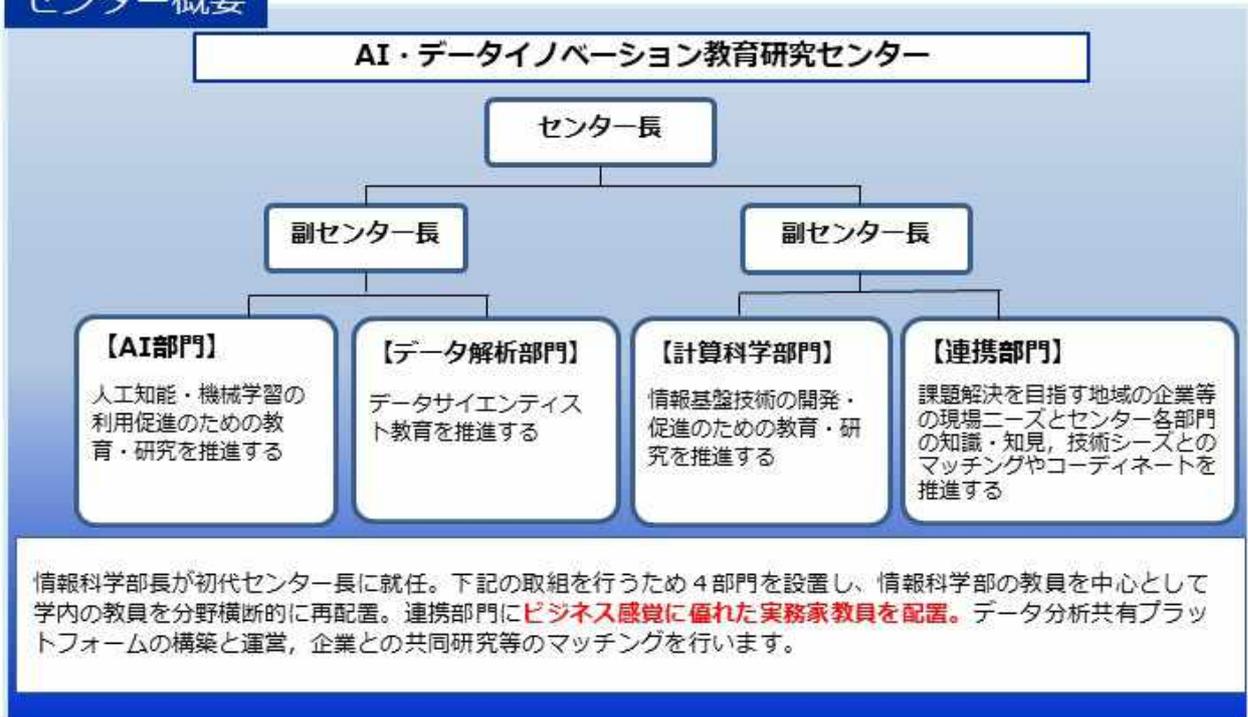
一方、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に広島県が申請して採択されている「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」を推進するため、広島県下の企業等に対するリカレント教育を行うために、本学がカリキュラムの提供や講師の派遣等を実施しているところです。

こうした、これまでの実績を踏まえ、AI・データ解析・ICT技術の実践的な研究開発とリカレント教育の提供、多くの地域企業との共同研究による研究力の強化やイノベーション創出などに取り組み、国内のAI・データサイエンス教育研究の拠点として発展させ、地域創生に貢献していきます。

【お問い合わせ先】

広島大学工学系総括支援室 室長 森川 敏昭
TEL:082-424-7501 FAX:082-422-7039

センター概要



主な取組内容

- ① **AI・データサイエンス・計算科学の基盤研究**
 - ・高次元データ分析や機械学習アルゴリズム、高性能計算等の**先端研究**
- ② **企業・行政機関等との連携**
 - ・データ分析・AI技術等に関する**助言・相談、共同研究の推進**
- ③ **AI・データサイエンス・ICT教育**
 - ・**県内企業**や行政機関に対する**リカレント教育**、大学間教育連携
- ④ **本学のAI・データサイエンス・計算科学の教育・研究支援**
 - ・カリキュラム・教材の提供、データ分析・AI技術等に関する助言など

令和2年9月25日

広島大学スポーツセンターを設置します

本学では、平成17年にスポーツ科学センターを設置して、本学におけるスポーツに関する学士課程教育、課外活動支援、スポーツに関する研究及び地域社会との連携の推進に取り組んできましたが、平成23年のスポーツ基本法の制定、平成29年の第2期スポーツ基本計画の策定、平成31年の一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）の設立等、大学に対してスポーツに関する社会的要請がますます拡大しています。

この度、スポーツ科学センターの機能を拡充・強化し、10月1日に新たにスポーツセンターを設置することといたしました。本センターは「スポーツに関する教育及び研究を行い、スポーツの振興を通じて、健全な心身と教養、豊かな人間性を備えた人材の育成に資する」ことを目的としており、拡大する社会的要請にこたえていくとともに、スポーツを通じて本学の理念の実現を目指します。

本センターが中心となり、UNIVASが掲げる「大学スポーツの振興により、『卓越性を有する人材』を育成し、大学ブランドの強化及び競技力の向上を図る。もって、我が国の地域・経済・社会の更なる発展に貢献する。」という理念を共有し、「学業充実」、「安心安全」、「事業・マーケティング」の3つの柱に対して、大学全体として取り組んでいきます。

スポーツは、年齢・性別・人種・国籍・障がいの有無等に関わらず世界中で親しまれており、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて欠かせない要素となっております。スポーツを通じた教育、研究、社会貢献により、本学学生の人材育成をはじめ、地域社会全体の活性化に貢献していきます。

また、本センターの設置に併せて、スポーツ庁委託事業「令和2年度 大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」を申請し、採択されました。さらに、本学でスポーツに取り組む学生への支援等を目的とした広島大学スポーツ振興基金を立ち上げます。本学同窓生や元教職員をはじめ、本学学生を応援いただく皆様にもご支援いただけたら幸いです。詳細については、本学公式ウェブサイトに掲載いたします。

※スポーツ庁委託事業「令和2年度 大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」について

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/detail/1421596_00001.htm

【参考資料】

広島大学スポーツセンターの組織及び事業

新たな組織「広島大学スポーツセンター」にAD部門を設置してSAを配置



安心安全を確保した大学スポーツの振興を推進する専門的部署を設置
スポーツ関連窓口・管理の一元化



スポーツに関するマーケティング・学内マネジメントに精通した専門職員を配置

大学スポーツが持つ
・人材輩出
・経済活性化
・地域貢献
などの潜在力を最大化



事業実施計画	構築	発展	確立
	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 広島大学スポーツセンターアスレチックデパートメント（AD）部門の設置 ✓ スポーツアドミニストレーター（SA）の配属 ✓ SA主導によるマーケティング ✓ 自治体・企業と連携したキックオフイベントの開催 ✓ コンソーシアムの形成 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学内スポーツ団体を統括 ✓ スポーツ施設のマネジメント ✓ アスリート・パラアスリートの支援体制の確立 ✓ 競技活動支援・修学支援実施 ✓ スポーツ医科学センターと連携したメディカルサポート・後方支援の実施 ✓ 独自予算による活動の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 大学を中心としたスポーツによって地域を活性化できる拠点の形成 ✓ 諸外国と連携した国際社会連携活動の実施 ✓ 独自予算によって自主可能な財務基盤の確立 ✓ 大学・地域におけるスポーツ文化の醸成

【お問い合わせ先】

広島大学スポーツセンター
センター長（就任予定） 出口 達也
TEL:082-424-6849
または
広島大学教育室教育部
教育支援グループ 角田 明
TEL:082-424-6151
MAIL: sports@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 2 年 9 月 25 日

広島大学初のネーミングライツを工学部の施設に導入 ～ 広島大学と株式会社加藤組が、ネーミングライツ契約を締結 ～

広島大学は、株式会社加藤組（本社：三次市、代表取締役社長 加藤修司、以下「加藤組」）と、大学施設のネーミングライツ（施設命名権）取得に関する「ネーミングライツ事業実施契約書」を締結しました。

本学は、本学所有施設の有効活用による自己収入の拡大を図り、教育研究環境の向上を目的として、ネーミングライツ制度を令和 2 年 4 月 1 日に導入しました。

このたび、東広島キャンパス工学部実験研究棟 C 1 「おもしろラボ」（以下「本施設」）のネーミングライツ公募に加藤組が応募し、選考委員会による審査を経て、命名権者に選ばれました。令和 2 年 1 0 月 1 日から令和 7 年 9 月 3 0 日まで、本施設は「KATO OMOSHIRO LAB」となります。

なお、本施設は広島県内の大学で初のネーミングライツの施設になります。

命名権者となる加藤組は、三次市で地域密着型の土木・建築工事、維持作業を行う事業者で、創業から今年で 8 5 年を迎えます。近年は、国土交通省が推進する「i-Construction」にも力を入れており、建設現場に ICT 技術を導入した

革新的な取り組みを評価する「i-Construction」大賞（平成 3 0 年）」を受賞し、なかでも最も優秀な 1 団体のみに贈られる「国土交通大臣賞」も受賞しています。

本施設は、学生の自主的な学びと情報発信を行うための場として平成 2 8 年にオープンしました。分野や所属を超えた「人」と「知」の交流と、それを通じた新しい学び・創造の舞台として、大学内外で様々な活動を行う学生たちに情報発信の場を提供するとともに、本施設で企画したイベントを通じて、教職員さらには学外の人々との交流を図る場として利用しています。

本契約を機に、加藤組からは本施設へのサポートをいただくと共に、本学と加藤組は産学連携を強化していきます。



本施設に設置されるサイン

「KATO OMOSHIRO LAB」のスタートを記念し、オープニングセレモニーを下記のとおり執り行います。つきましては、本オープニングセレモニーの取材についてご案内します。

<オープニングセレモニー概要>

- 【日 時】 10月2日（金）11：30～11：50
 【場 所】 広島大学東広島キャンパス East Area 工学部実験研究棟C1
 「KATO OMOSHIRO LAB」
 【出席者】 広島大学長 越智光夫
 株式会社加藤組 代表取締役社長 加藤修司
 ほか関係者



<ネーミングライツの概要>

1. 命名権者	(1) 法人名：株式会社加藤組 (2) 本社所在地：広島県三次市十日市東一丁目8番13号 (3) 代表者：加藤修司
2. 対象施設	東広島キャンパス East Area 工学部実験研究棟C1「おもしろラボ」 延べ床面積：119㎡ 主な利用者：広島大学工学部の学生
3. 愛称名	〈アルファベット表記〉 KATO OMOSHIRO LAB 〈日本語表記〉カトウ オモンロ ラボ
4. 契約期間	令和2年10月1日～令和7年9月30日
5. 愛称の使用	施設内外にサイン等の掲示



おもしろラボ外観



おもしろラボ室内

【お問い合わせ先】

広島大学財務・総務室 広報部

広報グループ

TEL:082-424-6013 FAX:082-424-6040

株式会社加藤組

企画営業課 上嶋

TEL : 0824-63-5117

令和 2 年 9 月 25 日

広大生が、株式会社アルピオンの支援を受け、スリランカで
有用植物栽培を通じた平和構築活動をスタートします

広島大学大学院国際協力研究科に在籍する内田涼^{うちだりょう}（博士課程後期）と梶下^{かじした}佳成^{よしなり}（博士課程前期）が中心となり、スリランカ民主社会主義共和国において、内戦の主戦場であった北部州で有用植物栽培を通じた平和構築活動に取り組む NPO 法人マザーランドランカ（Mother Land Lanka : MLL）を設立しました。

現在、マザーランドランカは、株式会社アルピオンの支援のもと、ワウニヤ県にて、「ホームガーデンプロジェクト」を実施しています。本プロジェクトは、シンハラ・タミル・ムスリムなど多様なアイデンティティをもつ人々が、スリランカ伝統有用植物栽培を通して、民族や宗教の違いを越えて、共に働き、手を取り合い協力し、共生する「場」を提供します。

本学の学生が、「平和」を学び、研究し、そして実践することで、本学の建学理念の一つである「平和を希求する精神」を具現化し、世界の平和に貢献していくことを大いに期待します。

【NPO 法人マザーランドランカ 概要】

団体名：マザーランドランカ（MOTHER LAND LANKA : MLL）

所在地： 8/20, Pandiwatta Road, Nattaranpotha, Kandy, Sri Lanka

設立： 2020 年 6 月 15 日

ホームページ： <https://motherlandlanka.org/>

【代表取締役】

ニール ディ アルヴィス （元スリランカ内務省次官）

【取締役兼プロジェクト統括】

内田 涼 （広島大学大学院国際協力研究科・博士課程後期）

【取締役兼総務】

ハンサ ジャヤラトネ （コロンボ大学・講師）

【財務】

ティラカ ピヤシーリ （実業家）

【戦略】

梶下 佳成 （広島大学大学院国際協力研究科・博士課程前期）

【会社秘書】

バーシニ グナラトネ （弁護士）

【顧問】

吉田 雄一郎 （広島大学大学院人間社会科学研究科・教授）



ナーウィンナ・
アーユルベーダ病院を視察
(2019年2月)



マルマドゥワ村にて
コミュニティミーティングを開催
(2019年3月)



ワウニヤ南地区長ジャーナカ氏と
プロジェクト候補地を視察
(2019年3月)



ワウニヤ南地区・開発担当と
プロジェクト候補地を視察
(2019年11月)



プロジェクト参加予定の農家と
意見交換 (2019年11月)

【お問い合わせ先】

広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期
(Mother Land Lanka取締役・プロジェクト統括) 内田 涼
E-mail: motherlandlanka.org@gmail.com